

安全データシート (SDS)

1. 製品および会社情報

製品名 : アクロ弾性目地モルタル 主材液
会社名 : 菊水化学工業株式会社
住所 : 滋賀県湖南市石部口3-1-1
担当部門 : 技術部 日本スタッコ技術グループ
電話番号 : 0748-77-3155
FAX番号 : 0748-77-4501

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

分類基準に該当しない

【絵表示】

なし

【注意喚起語】

非該当

【危険有害性情報】

なし

【GHS分類区分に該当しない他の危険有害性】

皮膚に付着したままにすると炎症を起こす場合がある

【注意書き】

全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
容器を密閉して涼しい所/換気の良い場所で施錠して保管すること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
保護手袋/保護眼鏡/保護マスクを着用すること。
粉塵/フェーム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名 : アクリル酸エステル共重合体水性エマルジョン

成分	含有量	化学式	化審法番号	CAS No.	PRTR法	労安法(通知対象物)
共重合体	60~61%		6-217	26636-08-8	非該当	非該当
水	39~40%	H ₂ O		7732-18-5		

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努め、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付いた場合 : 付着物を拭き取り、水と石鹼でよく洗う。外観に変化が見られたり、痛みがある場合は医師の診断を受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。洗眼の際、まぶたをよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。その後、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口を洗わせ、直ちに医師の診断を受ける。意識のない被災者には何も与えてはならないし、無理に吐かせてもならない。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水[○]、二酸化炭素[○]、泡[○]、粉末[○]、乾燥砂[○]
使ってはならない消火剤は特になし。
- 特定の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は有毒なガスを吸い込まないように呼吸用保護具等を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には保護具を着用して、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。
- 環境に対する注意事項 : 河川・湖沼等に流入すると広範囲にわたり白濁させる。
河川・湖沼等に流入は絶対に避ける。
- 除去方法 : 少量の場合は、吸着剤(おがくず、土、砂、ウエス等)に吸収させて取り除いた後、残りをウエス等でよく拭き取る。
多量の場合は、土砂等の不燃物で囲って流出を防止し、漏出したものをすくいとり、空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い :

- 技術的対策 : 局所排気装置等を設け、通気の良い場所で作業する。
漏れ、あふれ、飛散等がないように注意して取扱う。
保護眼鏡、防毒マスク、保護手袋等の保護具を着用し、暴露を防止する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- 注意事項 : 漏れ、あふれ、飛散などによる作業場の汚れを防止する。
取扱い場所には、関係者以外の立入を禁止する。

保管 :

- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、換気のよい冷暗所に保管する。
屋内貯蔵を原則とする。
施錠をして保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 局所排気装置、洗眼、手洗い、身体洗浄用の設備。

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 : 設定されていない。

保護具 : 保護眼鏡、保護手袋、保護長靴、保護服、保護マスク、保護前掛け。

保護具は定期的に点検する。

作業中は飲食、喫煙はしない。飲食、喫煙前に石鹼で手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

外観 :	乳臭白色水性液体
臭い :	殆どなし
pH :	6. 5～8. 5
融点・凝固点 :	約0℃
沸点、初留点及び沸点範囲 :	約100℃
引火点 :	データなし
爆発範囲 :	データなし
蒸気圧 :	データなし
蒸気密度 :	データなし
比重 :	1. 0～1. 2
溶解度 :	水に分散
オクタノール／水分配係数 :	知見なし
自然発火温度 :	データなし
分解温度 :	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 :	通常の条件下では安定であるが、電解質や凝集剤とは凝集を起こす。
危険有害反応可能性 :	水禁忌物質との接触による反応
避けるべき条件 :	水禁忌物質との接触
混触危険物質 :	水禁忌物質
危険有害な分解生成物 :	特になし

11. 有害性情報

急性毒性 経口	: 情報なし
経皮	: 情報なし
吸入	: 情報なし
皮膚腐食性／刺激性	: 情報なし
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	: 情報なし
呼吸器感作性	: 情報なし
皮膚感作性	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器／全身毒性 (単回暴露)	: 情報なし
特定標的臓器／全身毒性 (反復暴露)	: 情報なし

誤えん有害性	: 情報なし
水生環境有害性 短期 (急性)	: 情報なし
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 情報なし

12. 環境影響情報

移動性	: 知見なし
残留性/分解性	: 知見なし
生態毒性	: GHS分類に「分類対象外」又は「分類できない」
その他	: 河川・湖沼等に流入すると広範囲にわたり白濁させることになる。

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として、許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理をする。

14. 輸送上の注意

輸送時の特定の安全対策 : 容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損がないよう、荷崩れ防止を確実に行う。
道路や床にこぼした場合は、速やかに回収・清掃を行う。
排水系等の水面に露出した場合は、河川や海への悪影響を考慮して、全て回収すること。

国連分類 : 分類に該当しない。
国連番号 : なし

国連分類 : 分類に該当しない。
国連番号 : なし

15. 適用法令

消 防 法	: 該当しない
労働安全衛生法	
第 57 条の 1 (表示対象物質)	: 該当しない
第 57 条の 2 (通知対象物質)	: 該当しない
P R T R 法	: 該当しない
毒劇物取締法	: 該当しない
船 舶 安 全 法	: 該当しない
その他	: 一般論としては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律・水質汚濁防止法には関与する。

16. その他の情報

- ① 参考資料 : 「製品安全データシート作成指針」(平成 24 年 7 月 日本化学工業協会編)
- ② 本文書の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。また全ての化学品には未知の有害性が考えられる為、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位には安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。

以上